

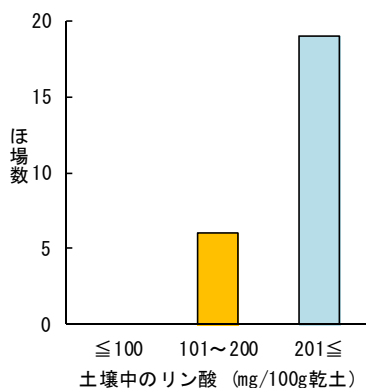
促成キュウリ栽培におけるリン酸減肥基準

促成キュウリ栽培におけるリン酸の減肥基準として、土壌中のリン酸（トルオグ法）が60mg/100g乾土以上では、基肥リン酸を無施用にしても収量に影響がないことが分かりました。ただし、窒素と加里の施用量および追肥のリン酸施用量は通常どおりとします。

現地の土壌調査

主要3産地の調査ほ場25箇所全てで、土壌中にリン酸が過剰蓄積していました。

※本県の定める施設畑でのリン酸の土壌改良目標値は30～100mg/100g乾土



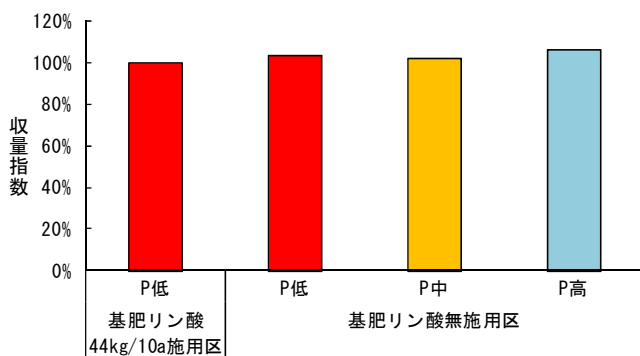
リン酸の蓄積実態 (2009)



現地の栽培風景

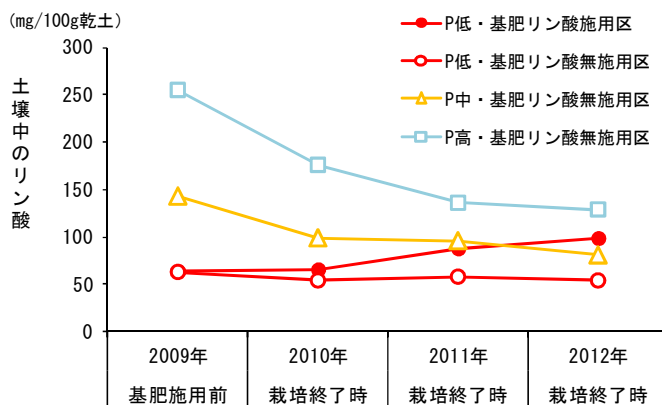
異なるリン酸レベルの土壌を用いたリン酸減肥試験

基肥リン酸を無施用にしても収量に影響はありませんでした。また、基肥リン酸を施用すると土壌中にリン酸が蓄積しました。



2009～2011年の収量指数※の平均値(2月末まで)

※ 基肥リン酸44kg/10a施用区の収量を100とした指数
(平均収量11,110kg/10a)



リン酸の経年変化 (2009～2012)

注1) ドレンベッド栽培。供試品種はZQ-7(台木はART一輝)。定植は10月上旬。栽植密度は1,234株/10a(株間45cm)。

注2) 基肥の窒素と加里は全区それぞれ42kg/10aと30kg/10a、追肥のリン酸は全区37kg/10a施用。

注3) 基肥施用前のリン酸レベルは、P低：60mg/100g乾土、P中：150mg/100g乾土、P高：250mg/100g乾土。

地床栽培での基肥の肥料費試算

基肥リン酸を無施用とすることで肥料費を削減できます。

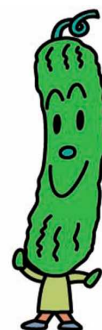
基肥施用前の 土壌中のリン酸 (mg/100g乾土)	基肥リン酸 施用量 (kg/10a)	可販果収量 (kg/10a)	使用肥料 (含有成分N-P ₂ O ₅ -K ₂ O)	肥料費 (円/10a)	肥料費差 (円/10a)
58	0	8,454 [107]	無リン酸肥料(31-0-0) ケイ酸加里(0-0-20)	49,135	-10,255
	48	7,874 [100]	慣行肥料(7-8-4)	59,390	—

注1) 供試品種はZQ-7(台木はART一輝)。調査期間は2013年10月8日～2014年1月27日。

注2) []内は基肥リン酸48kg/10a施用区に対する指数。

注3) 基肥の窒素と加里は両区それぞれ42kg/10aと24kg/10a、追肥のリン酸は両区26.5kg/10a施用。

注4) 肥料費は、3JAの肥料価格の平均から算出(2014年7月現在)。



きゅうりの
キューコさん

©新需要開拓マーケティング協議会・やなせたかし